

姫路市の手柄山スポーツ施設

兵庫労働局長が安全パト

厚生労働省兵庫労働局は2日、全国安全週間と建設業労働災害防止強化月間に合わせて、兵庫県姫路市の手柄山スポーツ施設整備運営事業現場で、赤松俊彦局長による建設現場安全パトロールを実施した。

現場事務所において、施工を担当する大成建設・ノバック・ハマダJ.V.の大谷悟史所長が工事概要や安全対策について説明。その後、昼礼の会場に集められた作業員350人を前に赤松局長は「県内では今年、既に3人が労働災害で亡くなっている。これ以上の死亡災害は何としても防がなければならない。墜落・転落災害の根絶と熱中症対策の2点について、現場で働く方々が一丸となり、確実に実施してほしい」と要請した。

昼礼後、大谷所長の案内でメインアリーナの建設現場を巡回した。パトロールには、兵庫労働局の他、姫路労働基準監督署や建設労働災害防止協会兵庫支部も同行し、熱中症対策などの取り組みを確認した。

現場を巡回した赤松局長は「高所で行っていた作業を地面に近い場所で行うことで、墜落・転落災害を減らす工夫がうかがえた。熱中症対策では、クーラーの効いた部屋やトイレを設けるなど、職長が中心となり熱中症対策に取り組んでいることを確認した」と感想を述べた。

中症対策に取り組んでいることを確認した」と感想を述べた。

規模は鉄筋コンクリート+鉄骨造地下1階地上4階建て延べ4万2132平方メートル。敷地面積は4万2775平方メートル。建設地は姫路市西延末

2026年7月末の完成予定。

2025年度第1回上下水道事業懇話会を開いた。上下水道事業の経営状況の他、「堺市上下水道事業経営戦略2023-2030」に定めた目標の達成状況、課題の分析などを局の関係者と学識経験者3人が審議した。

冒頭、上下水道局事業管理者の森功一氏は、埼玉県で発生した下水道管の破損による道路陥没事故に触れ、「全国各地でも老朽化による大規模な漏水事故が起きている。上下水道事業の根幹である水道水質の安全性や施設の信頼性に対する懸念が高まっている」と述べた。さらに、「堺市の上下水道事業の経営状況も踏まえながら、将来を見据えた幅広い視点から皆さまの意見を頂きたい」と話した。

懇話会では、経営診断と話をした。

高松テクノサービスが経営トップパト

建物周りの足場など視察

高松テクノサービス大阪本店（大阪市淀川区）の現場を訪れた松井公平社長は、「資材置き場や建物周りの足場などを視察。施工品質や安全管理の状況を隅々まで確認する松井公平社長

高松テクノサービス大阪本店（大阪市淀川区）の現場を訪れた松井公平社長は、「資材置き場や建物周りの足場などを視察。施工品質や安全管理の状況を隅々まで確認する松井公平社長

高松テクノサービス大阪本店（大阪市淀川区）の現場を訪れた松井公平社長は、「資材置き場や建物周りの足場などを視察。施工品質や安全管理の状況を隅々まで確認する松井公平社長

高松テクノサービス大阪本店（大阪市淀川区）の現場を訪れた松井公平社長は、「資材置き場や建物周りの足場などを視察。施工品質や安全管理の状況を隅々まで確認する松井公平社長

高松テクノサービス大阪本店（大阪市淀川区）の現場を訪れた松井公平社長は、「資材置き場や建物周りの足場などを視察。施工品質や安全管理の状況を隅々まで確認する松井公平社長



大谷悟史所長（左）の説明を聞く、赤松俊彦局長（中央）と建設労働局長（右）の三木健義氏（右）



高松テクノサービス大阪本店（大阪市淀川区）の現場を訪れた松井公平社長は、「資材置き場や建物周りの足場などを視察。施工品質や安全管理の状況を隅々まで確認する松井公平社長

高松テクノサービス大阪本店（大阪市淀川区）の現場を訪れた松井公平社長は、「資材置き場や建物周りの足場などを視察。施工品質や安全管理の状況を隅々まで確認する松井公平社長

高松テクノサービス大阪本店（大阪市淀川区）の現場を訪れた松井公平社長は、「資材置き場や建物周りの足場などを視察。施工品質や安全管理の状況を隅々まで確認する松井公平社長

高松テクノサービス大阪本店（大阪市淀川区）の現場を訪れた松井公平社長は、「資材置き場や建物周りの足場などを視察。施工品質や安全管理の状況を隅々まで確認する松井公平社長

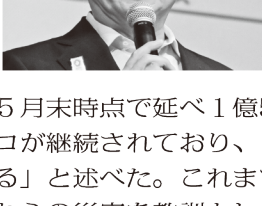
安全+大会フラッシュ



●真柄建設
(7月8日)
真柄卓司社長＝写真＝は、安全教育の重要性を説きながら「安全に対する知識と意識、両方の教育をしないと労働災害はなくなる」と強調。また改正労働安全衛生規則に触れ、「熱中症の重篤化と死亡災害を根絶しようという強いメッセージが込められている。熱中症を軽く考えずに、軽度の症状であってもすぐに病院に行くなど、しっかり対処するようにしてほしい」と呼びかけた。

続いて、大阪事業部の竹上真一執行役員事業部長と安全協力会大阪本部の當間精徳本部長があいさつ。来賓からは淀川労働基準監督署の久米川晴民署長が祝辞を述べた。

大会では優秀な安全成績を収めた協力会社を表彰した他、淀川労働基準監督署の角田智紀安全衛生課長が安全講話を実施。また衛生講話として、全国土木建築国民健康保険組合大阪健康支援室保健師の福井久子氏がメンタルヘルス対策について講演した。



●竹中工務店
(6月26日)
あいさつに立った名越健二近畿四国地区安全衛生管理委員長＝写真＝は、「安全協力会会員の皆さまの成果として5月末時点で延べ1億5000万時間以上もの重大災害ゼロが継続されており、このご尽力に対して深く感謝する」と述べた。これまでに発生した災害に触れ、「これらの災害を教訓とし、どんなに小さな危険の芽も逃さず、『凡事徹底』作業の基本に忠実に従って、安全な職場環境を築いてほしい」と呼びかけた。

安全表彰では、本店長賞に選ばれた10社12人と特別賞に選ばれた1人が表彰を受けた。その他、元消防士で防災スペシャリストの野村功次郎氏が「突然、大切な仲間・家族が心肺停止！～臆することなく救命処置をするために～」をテーマに特別講演を行った。

安全表彰では、本店長賞に選ばれた10社12人と特別賞に選ばれた1人が表彰を受けた。その他、元消防士で防災スペシャリストの野村功次郎氏が「突然、大切な仲間・家族が心肺停止！～臆することなく救命処置をするために～」をテーマに特別講演を行った。

安全表彰では、本店長賞に選ばれた10社12人と特別賞に選ばれた1人が表彰を受けた。その他、元消防士で防災スペシャリストの野村功次郎氏が「突然、大切な仲間・家族が心肺停止！～臆することなく救命処置をするために～」をテーマに特別講演を行った。

安全表彰では、本店長賞に選ばれた10社12人と特別賞に選ばれた1人が表彰を受けた。その他、元消防士で防災スペシャリストの野村功次郎氏が「突然、大切な仲間・家族が心肺停止！～臆することなく救命処置をするために～」をテーマに特別講演を行った。

安全表彰では、本店長賞に選ばれた10社12人と特別賞に選ばれた1人が表彰を受けた。その他、元消防士で防災スペシャリストの野村功次郎氏が「突然、大切な仲間・家族が心肺停止！～臆することなく救命処置をするために～」をテーマに特別講演を行った。

15作業所を視察

長谷工コーポと関西・東海安全協力会が合同安全パト

長谷工コーポレーションと関西・東海安全協力会は4日、2025年度全国安全週間経営首脳特

長谷工コーポレーションと関西・東海安全協力会は4日、2025年度全国安全週間経営首脳特

長谷工コーポレーションと関西・東海安全協力会は4日、2025年度全国安全週間経営首脳特

長谷工コーポレーションと関西・東海安全協力会は4日、2025年度全国安全週間経営首脳特

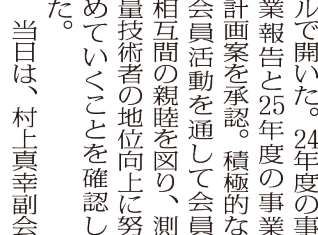


またブランドメッセージ「思いを、はせる。」に触れ、「われわれは作業員の皆さんの健康と良きことを求めて、安全と品質の徹底を求めた。

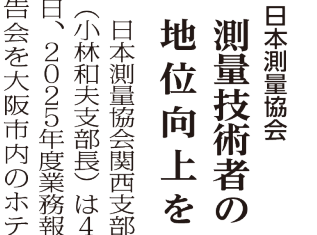
またブランドメッセージ「思いを、はせる。」に触れ、「われわれは作業員の皆さんの健康と良きことを求めて、安全と品質の徹底を求めた。



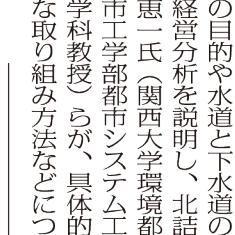
またブランドメッセージ「思いを、はせる。」に触れ、「われわれは作業員の皆さんの健康と良きことを求めて、安全と品質の徹底を求めた。



またブランドメッセージ「思いを、はせる。」に触れ、「われわれは作業員の皆さんの健康と良きことを求めて、安全と品質の徹底を求めた。



またブランドメッセージ「思いを、はせる。」に触れ、「われわれは作業員の皆さんの健康と良きことを求めて、安全と品質の徹底を求めた。



またブランドメッセージ「思いを、はせる。」に触れ、「われわれは作業員の皆さんの健康と良きことを求めて、安全と品質の徹底を求めた。